

2月14日はバレンタイン!! お世話になった方々へ日頃の感謝を込めて take it!

チョコレートを贈ってみてはどうですか??

勿論!! 愛の告白でもいいですよ~



研修報告!!



看護制度の動向

平成20年12月13日 救急外来 村上 比斗美

現場における人材確保・定着への取り組み方として①卒後臨床研修制度化の実現性②人材不足の中、外国人看護師の受け入れに関する情報③看護師の労働環境・労働条件改善ありかたについて講義を受けることができました。

潜在看護師の離職の理由として、看護管理者の認識と潜在看護師の認識のズレが生じている。離職の理由として勤務時間が長い・超過勤務が多い・夜勤の負担が大きい・医療事故への不安・休暇が取れないなどがあります。職場としては職員のニーズを知る事が大切であり、常に職員を大切にしている事をメッセージしていく事が重要です。ワークライフバランスと子育て支援が課題となります。労働安全衛生法からも看護師自身が自分の健康を守ること、患者の命を守ることが出来ると言われています。長時間労働させないためにも職場に残っている人がいたら早く帰すようお互い声を掛け合い指導していきたいと思えます。

認知症高齢者の日常生活における看護

平成20年12月4日 西5階 三上 由紀江

認知症患者の理解を深め、看護職員の専門性、実践力の向上を図る事を目的とした研修会に参加しました。そこで認知症高齢者が穏やかな生活を送る為の看護師の役割と多くの課題があることを学びました。認知症患者は苦痛を感じていても、行動で明確に表現をするなど、言葉で訴えることが困難です。さらに高齢であることも加え身体機能が上手く作動しません。将来自分達も認知症になる可能性があることを念頭において、生活・身体・精神状態の3つのバランスを看ながら、老人看護、認知症看護に携わる必要があると思えました。

認知症ケアの基本は、認知症患者に出来ないことを要求せず、できるはずのことを奪わない。痴呆を生きる一人一人の心に寄り添い、人生が透けて見えるような関わりをつくる。今後この2つの視点を統合してケアを行っていききたいと思えます。

チャイルド・ライフ・スペシャリストの活動とプレパレーションの技術と実際

平成20年12月3日 2階病棟 中山 恵美

チャイルド・ライフ・スペシャリストの役割とは、子供が病院で経験する不安やストレスを出来る限り軽減し、身体・心理・社会・認知的発達を支援することである。その中で特に興味を持ったのは、治療的遊びの支援である。これはストレスの軽減を促す遊び・気を紛らわす遊び・子供が主役の遊び・自分らしく成長する遊び・メディカルプレイに分けられる。遊びの中で子供の不安やストレスをいかに引き出せられるかが重要となり、今後の治療や退院後の生活に大きな影響を与えることを学んだ。また遊ぶ物や遊び方からも、子供の訴えや想いが出ていることがある。そのため一緒に楽しく遊ぶだけではなく、その中で何を訴え何がストレスなのかを観察することも重要だと学んだ。今後の看護に活かしていきたいと思う

新任医師紹介



- ①氏名 ②出身地
- ③常滑市民の印象 ④一言

① 木村賢哉先生 ② 稲沢市 ③ 物はとても古いですが、スタッフの方々に温かみがあるような気がします
④ 消化器(肝・胆・膵)の癌の外科治療を中心に学んできましたが、外科で扱う疾患であれば何でも診ます。常滑の皆さんのお役に立てるように頑張りますので、よろしくお願いします。



消化器外科医・木村賢哉



ひふ・排泄ケア認定看護師教育課程を受講するための試験に合格し6月から半年間、京都橋大学看護教育センターへ研修に行く松本昌樹さんに、意欲と目標を語ってもらいました。

入学試験合格おめでとう!!

松本 昌樹さん
皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程での意欲と目標
私の目標は①ストーマ外来の開設②院内の褥創発生率低下の2つがあります。これらを実現する為、創処置・ストーマなどに関して確かな知識を習得したいと思います。①に関しては、環境の変化に対応して不安の軽減ができる。②に関しては、エビデンスに基づく実践をし、発生件数の減少と治療期間の短縮という確かなアウトカムを出していきたい



やっと目はいったよ

めざせ認定看護師!!

研修のお知らせ			
2月17日(火)	卒2なんでも発表会	11:30~	5階会議室
2月24日(火)	卒1フォローアップ研修	16:00~17:15	2階会議室
	准看護師成果発表会	17:30~	2階会議室
2月25日(水)	卒6評価発表	17:30~	2階会議室

